結果報告□11月Web教えてモニター「今年のハロウィン」

【テーマ・商品】
今年のハロウィン

【モニター目的】
ハロウィン関連の商品の利用を調べ、次年度以降の企画・品揃えに活かす。

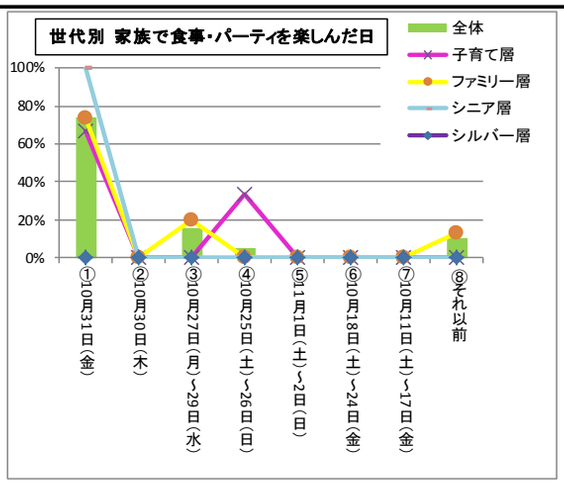
【回答期間】 11/13～11/23　　**【回答者数】** 216名

■総評

(1)ハロウィンに関連して、「興味はあるが何もしなかった」方は22.7%、「興味がなく、何もしていない」方は39.8%で、残る37.5%の方は何かをしたということになり、比較的新しいイベントであるにもかかわらず、浸透の仕方は早いといえます。主なところでは「お菓子を買ったり外で食べたりした」21.8%、「インテリアを飾って楽しんだ」16.2%、「仮装した」10.6%、「パーティに参加した」10.2%でした。やはり若い世代ほど行動した比率が高く、子育て層では36.4%が「仮装した」と回答しています。子育て層を取り込む絶好の催しです。

(2)家族で食事やパーティをした方はハロウィン当日が73.7%で圧倒的ですが、お出かけや外出してのパーティ参加については、ハロウィン当日は3割強しかなく、都合の良い日に前倒しでおこなう方が優勢で、友人とは都合の合う日に前倒しで楽しみ、当日は家族と過ごす―というパターンが多いのかもしれません。ハロウィンの室内装飾などについては、子育て～シニアの3層では年代が高くなるほど、準備も早まる傾向がみられます。関連行事・食事に使った金額は「1,000～2,000円未満」(25.4%)をピークとする山型で、1,000円以上を使った方の比率を世代別でみると、ファミリー層(65.9%)をピークとする山型を描いており、ファミリー層がハロウィンによくお金を使っている実態がうかがえます。

(3)手作りした食べ物は、かぼちゃのグラタン、コロッケ、サラダ、ポタージュやパイ、ケーキ、クッキーなどで、薄切りした食パンを利用したミイラのソーセージ、特製のアップルサイダーを作った組合員さんもいました。市販品ではハロウィン版の「源氏パイ」、「コアラのマーチ」、「カントリーマアム」、「キットカット」、「クッピーラムネ」、「きのこの山/たけのこの里」、「キャラメルコーン」などが人気で、生協の宅配で扱った「六花亭　ハロウィンボックス」も好評でした。



■組合員の声

・ハロウィンで、大勢の子供に配れるよう、個包装された小さいお菓子を何種類もほしい。あと、ラッピング袋も。

・パッケージだけがハロウィンのものではなく、中身がしっかりハロウィンに関連しているものを紹介してほしいです。

・どのご家庭も(うちも含めて)配るものがお菓子に偏るので、ちょっと気の利いたハロウィングッズ(例えば飾り、文房具、シール、小道具、歯ブラシなど日用品)があれば、ありがたいです。

・クリスマスのように、生協の食材を使ったレシピなど、提案して欲しい。

・1kg入りのキャンディは、子供たちに配って回るためには、たっぷりあって、とてもよかった。

・すでに出来上がったものよりも、手作りキットのようなものがあればお願いしたいです。お料理やお菓子など。自分たちで作った感も満足できるからです。